

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 【新】温泉ガストロノミーウォーキングを契機とした 国際交流事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 自然公園係 電話番号：058-272-1111(内2927)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,500 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,500	0	0	0	0	0	0	0	9,500
決定額	9,500	0	0	0	0	0	0	0	9,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県はフランスのアルザス欧州自治体と友好交流に関する覚書を交わし、スポーツや観光、食、青少年育成などの交流を進めることとしており、その中で、お互いの食文化に触れることを目的とした旅行「ガストロノミーツーリズム」の分野で協力していくこととしている。

ガストロノミーツーリズムは、地域に根ざした食と自然、歴史などの魅力に触れることを目的とした欧米で流行している新たな旅のスタイルであり、日本ではこれに温泉を加えたONSEN・ガストロノミーウォーキングとして、(一社)ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構の支援のもと、全国的に開催されている。

本県は数多くの温泉や豊かな自然環境を有しており、ガストロノミー・ウォーキングの本場アルザスとの交流を更に進めることで、ONSEN・ガストロノミーウォーキングの県内への普及を図るとともにアルザス欧州自治体とのさらなる繋がりを深める。

(2) 事業内容

令和6年度から7年度に万博国際交流プログラムとしてONSEN・ガストロノミーウォーキングを開催する。

令和6年度は、10月に開催する「清流の国ぎふ」文化祭2024の事業として開催する。また、令和7年度は、全国都市緑化ぎふフェアにおける事業として4月から6月の間に開催するため、令和6年度から準備を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県とアルザスとの交流を深めるとともに、ONSEN・ガストロノミーウォーキングの更なる県内への普及を図るものであるため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	250	通訳料等
旅費	470	業務旅費
需用費	62	消耗品費、燃料費
役務費	30	郵送代
委託料	8,032	ONSENガストロノミーウォーキング委託料、関係者懇談会等
負担金	600	ONSENガストロノミーウォーキング認定料
使用料	56	高速道路使用料、会議室使用料
合計	9,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第6次岐阜県環境基本計画

基本施策5「未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」

基本施策3「美しく豊かな環境との共生」

基本施策2「資源循環型社会の形成」

(2) 国・他県の状況

環境省は平成29年7月、温泉地の活性化に向けた提言をとりまとめ、「温泉を中心に、自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした元気になれるプログラムの提供が重要」としている。

平成29年度から国内各地で開催。令和4年度には全国で37回開催され4,806名が参加した。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県の主要事業の一環として実施するとともに、フランスのアルザス欧州自治体との交流を図る事業であるため、県が事業主体になることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内各地で「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」を定着させ、国内外からの誘客を図り、自然環境意識の醸成と本県における観光消費額の増大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①参加率 (%)	100			100		

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和3年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
万博交流プログラムとして引き続き、イベントを開催する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせる理由
や期待する効果 など